

仲間とともに自分の生活を見つめ直す保健学習について



山口大学教育学部附属山口小学校
養護教諭 内田 裕子

第1次 1時間目 けがの原因について考えよう

今までにどんなけがをしたことがあるかな。



お父さんとお兄ちゃんがサッカーでパス練習をしているところに、僕が間に入ってしまって、ボールが鼻に直撃したことがあるよ。原因は、周りをみていなかったことかな・・・。

運動場で転んで膝をすりむいたことがあるよ。このけがの原因は滑ったことだと思います。



どうして滑ったのかな。

あ～分かる分かる！私も運動場で滑ったことがあるよ。その時も雨で濡れていたよ。

けがの原因の多くがふざけていることだったし、私もよくふざけてけがをしているから、気を付けたいと思いました。



1/21

けがの防止

987人 (4/8 ~ 1/20)

けがの種類

やけど	すり傷
きり傷	ねんざ
骨折	鼻血
つかわれる	つき指
打ぼく	刺し傷
だつきゆう	

人の行動

なれた
油断
はげいおどり
調子に乗る
不注意
前を見していない(周り)
遊んでた
急カーブを曲った
他のことを考えていた
2段とばし

環境

バナナのかわで遊んでふざけている
ペット
地面がぐちゃぐちゃ(雨)
てぼこ(石)
何もなところてころぶ

けがの多い場所ランキング

1位	運動場	359件
2位	教室	181件
3位	体育館	119件
4位	階段	98件
5位	廊下	72件

けがの原因の多くは人の行動だったので、たいてい自分のせいなんだと思いました。

やっぱりふざけるのはよくないなと思いました。これからは場所や状況を考えて過ごしたいです。

〇〇君の意見に共感できました。私も、友達とバトミントンで遊んでいてふざけたり、調子にのったりするので、いけないなと思いました。

今まで油断していてけがをよくしていたので、私も、これからはよそ見などをしないで、けがをしないよう気を付けたいです。

第1次 2時間目 けがの防止について考えよう

絵を見てけがが起こりそうな場所を伝え合ひましょう。

ふざけていて、けがをしてしまいそうな人が4人はいるね。



あ～2年生の頃に、同じことをやってけがをしたことがあるよ。



掃除で椅子を動かしているけれど、あの男の子は椅子が出ていることに気付かず走っていて、危ないよね。

掃除場所に急いでいる時は、けがをしてしまいそうになるから、慌てないように早めに行動するといいと思うな。



けがを防ぐために、僕は注意をあげた方がいいと思うけれど、大きな声だと驚いて逆にけがをしてしまうかもしれないから、やさしく危ないよと伝えるようにしたいです。



1/28

けがの防止について考えよう

けがを防ぐために

まわりをよく見る
約束を守る
ふざけない
おどおどする
先のことを考える
あわてない
かっつけない
入りの整理

人の行動

環境

感情

夢中になる
楽しい(休みの日)
ハイテンション
はしゃぎ回る

注意しあける
(やさしく)

5年2組 学校でのけがの経験

100%

確かに夢中になってまわりが見えなくなってけがをすることがよくあるから、この授業から変えていきたいです。

私も〇君と一緒に、ハイテンションで調子にのって、けがをしそうになったことがあったから、次からは気を付けていきたい。

けがをしないためには、自分だけが気を付けたらよいと思っていたけれど、今日椅子を整頓したりと周りに気を配ったりするとけがは防止できるんだなと思いました。

今までみたいに教室で騒いでいたら、自分もけがをするし、他の人にもけがをさせる恐れがあると分かったので、気を付けていきたいです。

第2次 1時間目 交通事故の防止について考えよう

今までにどんなけがをしたことがあるかな。

自転車で追いかけている人は止まらないといけないよね。

どうして止まらないといけないのかな。

〇〇君の、「立っているおばさんが危ないから、あいさつをして気付いてもらう」という意見はいいアイデアだと思いました。



後ろの自転車の子が急いで追いかけると、交差点だからこっちから車が出てきて、ひかれてしまうと思います。



だって、標識に「止まれ」って書いてあるから、交通ルールを守らないといけないからだよ。



標識だけでなく、信号や点字ブロック、カーブミラーなども事故防止のためにあるのだということが分かりました。

2/9 **けがの防止**

1年間の事故の件数(日本)
629021件
1日に交通事故で亡くなる人
14人

交通事故の防止について考えよう → 自分の命を守る

危険予測

起こりぞうな危険

車にぶつかる(かむ)
人にぶつかる
こける → あいさつ

危険を避けるために

左に寄る(端) → 交通ルールを守る
急がせない → 余裕を持つ
後ろを向かない(前を向く)
勝負に先に行かない(待つ)
両手で運転する
左右をよく見る

環境

信号(スローカー)
自然線・標識
横断歩道
点字ブロック

カーブミラーをつけてもらう
(市県に言う) → 自転車の点検
ヘルメットや補助輪をつける

人の行動力

やっぱり慌てているとけがや事故が起こりやすいから、落ち着いて過ごしたいと思いました。これからもっと気を付けて、自分の命を大切にしたいと思います。

信号や標識が事故防止につながるものだと今日改めて実感しました。もう少し登下校の時に周りを意識していきたいです。

今まで信号を渡る時は、いつも急いでいて、左右の確認をしていませんでした。次からは余裕をもって安全に渡りたいです。

あまり自転車で交差点を通ることはなかったけれど、この絵で危ないことがよく分かりました。これから活用していきたいです。今日の授業で、5年2組の事故がなくなればいいなと思います。

第2次 2時間目 犯罪被害の防止について考えよう

2つの公園、どこが危険だと感じるかな。

①の公園は、ブランコの前の柵もないので②の公園が安全だと思っています。



①のゴミの中には缶があるから缶蹴りができたり、人が少ないから自由に遊べると僕は思うな。

①は危険だと思う場所がたくさんあるから、僕は②の方がいいと思います。人が少ないといざというときに大きな声を出しても助けてくれる大人がいないから、とても危ないよ。



私も、②の公園が安全だと思うよ。なぜなら花が育っている公園は、管理する人がよく来ているから、不審者があまりいないと聞いたことがあるからだよ。

身の回りの場所でも、落書がある所は危険度が高いと思うから近づかないように気を付けているよ。

入口と出口が一つだと逃げるのが難しいから危険だと思うよ。登下校の地下道も危ないから気を付けていきたいな。

3/8 けがの防止 犯罪被害の防止について考えよう

犯罪被害にあいそうになった、あった人

あま	あま
63%	37%

犯罪被害の防止

木がはいはいIT (かかれる場所が広く大人)
 父が手 → 不良がそう
 ゴミ → あまがそう
 おじさん(あやしい)
 外灯が割れてる、少ない
 1人(のぞかれる)
 ブランコぶつかる
 車が近くを通る

危険予測

見通しが悪い
 どこからでも入れる
 出口が1つ (にげるのが難しい)
 人が少ない
 見えにくい (大人がいるのが怖い)
 暗い
 人の出入りが多い
 大人

8/10 3/8
 連絡帳 2
 業字 25
 明日は 3/8/10

整備... 花がある
 歩道が子どもにある
 大人がいる
 人が少ない

〇さんが外灯がわれているところまで見つけることができているな、よく見ているな、すごいなと思いました。

出入り口が1つだったり、隠れやすいところがある場所は危ないことが分かりました。危険予測をすることは大事だと思いました。

〇さんから、花が育っている所は不審者があまりいないと教えてもらったので、これからは花がある所を選んで遊びたいです。あと、人気のない所に行くのも控えたいです。

これからは登下校で一人にならないように気を付けていきたいです。地下道を通る時は、今まで以上に危険予測をして、自分の身は自分で守ってきたいです。

第3次 1時間目 けがの手当について知ろう

友達が目の前でけがをしました。あなたならどんな手当をするかな。

僕は、「大丈夫？」と聞くと思うな。

私は「一緒に洗おう」と、声をかけて手洗い場まで一緒に行ってあげると書いたよ。どこが痛いのか聞いてあげるのもいいね。

私が体育で、人の足につまずいてこけて、膝をすった時は、砂をはらって、水をかけてから保健室に行きました。だから、洗うといいと思います。

手当は、けがの悪化を防ぐためや、早く治るようになるためのものだと初めて知りました。今度、けがをした人がいたら、実際に手当してあげたいと思いました。

けがをした時は、心細いから、「大丈夫？」や「痛かったね」と言われると、安心できていいなと思いました。



2/20 **けがの防止** けがの手当について知ろう 悪化を防ぐ、早く治るようになる

～友だちのけが～
「大丈夫？」と聞く → ① **声かけ・確認する** → なるべく人にしない
痛かったねと伝える(心細くわらく)

② **けがの様子をよく見る**
③ **どんな手当をするか、考える**
大きなけが → 先生や大人を呼ぶ、保健室、救急車、AED

すりきず (鼻血)
土や石を落とす、水で洗う(清潔に保つ) → 消毒 → カットパンなどで保護

切りきず (鼻血)
ハンカチなどでおさえて血を止める

打ぼく
ひやす(内出血や腫れをおさえる)

やけど
ひやす(やけどの深さが選ぼう)

きずを心臓より高くあげる
※人の血はさわらないようにする

今までに受けたけが
すりきず
打ぼく
やけど
鼻血

けがをした人 自分で手当をした人
63% 37%



けがをしないように気を付けていても、けがはしてしまうけど、けがをした後に、水で洗ったり冷やしたりすることの大切さが分かりました。でもなるべくけがをしないようにしたいです。

水で洗うことがこんなにも大切ということが初めて分かりました。これからはけがをした時に水できちんと洗おうと思います。

ハンカチが役にたつことが分かったので、これからは持ってくるようにしたいです。

けがをした時は自分の体が治そうとたたかってくれていることが分かりました。それを助けるためには、水で洗うことが大切だと思いました。あと、これからも「大丈夫？」の声かけは続けていきたいです。